

# 2017年12月期 決算説明資料

株式会社ブロードリーフ

東証一部 3673



## 目次

Chapter 1	
2017年12月期 決算概要	2
Chapter 2	
2018年12月期 業績予想	12
Chapter 3	
経営計画	18
Appendix【参考資料】	
企業理念、会社概要、グループ体制、売上分野	24

## Chapter 1

# 2017年12月期 決算概要

---

# PLサマリー(連結・IFRS)

## POINT

業績予想を超過し、前期比増収増益で着地

(単位：百万円)

	FY2016	FY2017			
	通期	通期 (※)	増減率	予想(8/4)	達成率
売上収益	16,760	18,195	+8.6%	17,800	102.2%
営業利益	2,953	3,011	+2.0%	2,100	143.4%
当期利益	1,876	1,932	+3.0%	1,240	155.8%
EPS	39.47円	43.63円	+10.5%	28.00円	155.8%

※ 2017年8月からタジマを連結

## [参考] 営業利益に関する特殊要因について

(単位：百万円)

	FY2016	FY2017	
	通期	通期	増減率
特殊要因： 勝訴にともなう受取損害賠償金（※）	251	-	-
営業利益	2,953	3,011	+2.0%
営業利益（特殊要因含まない）	2,702	3,011	+11.4%
営業利益率	17.6%	16.5%	-1.1pt
営業利益率（特殊要因含まない）	16.1%	16.5%	+0.4pt

※ アゼスタ社との当社システムの著作権侵害訴訟の勝訴確定により、FY2016にその他の営業収益251百万円を計上

# 売上分野別の内訳（連結・IFRS）

## POINT

タジマの連結にともない、  
システム販売、システムサポート、ネットワークサービスともに増収

（単位：百万円）

	FY2016	FY2017		
	通期	通期	増減額	増減率
システム販売	10,894	11,737	+844	+7.7%
システムサポート	1,243	1,264	+20	+1.6%
保守	570	556	-14	-2.5%
サプライ	673	708	+35	+5.2%
ネットワークサービス	4,623	5,194	+571	+12.3%
ストック	3,663	4,177	+515	+14.0%
トランザクション	918	939	+21	+2.3%
PSF	657	642	-15	-2.2%
受発注等	261	296	+36	+13.7%
その他	43	78	+35	+82.6%
売上収益合計	16,760	18,195	+1,435	+8.6%

# 売上分野別の内訳（単独・日本基準）

## POINT

システム販売が増収に転じ、ネットワークサービスは増収を継続

（単位：百万円）

	FY2016	FY2017		
	通期	通期	増減額	増減率
システム販売	10,988	11,069	+80	+0.7%
システムサポート	1,239	1,230	-9	-0.8%
保守	570	550	-19	-3.4%
サプライ	669	679	+9	+1.5%
ネットワークサービス	4,623	4,919	+296	+6.4%
ストック	3,662	3,904	+241	+6.6%
トランザクション	917	938	+20	+2.3%
PSF	657	642	-14	-2.2%
受発注等	260	296	+35	+13.7%
その他	42	76	+34	+80.0%
売上合計	16,851	17,219	+368	+2.2%

# システム販売分野の売上内訳（単独・日本基準）

## POINT

自動車系ユーザー更新の回復により、機器販売の反動減を補う

（単位：百万円）

	FY2016	FY2017		
	通期	通期	増減額	増減率
自動車系	7,922	8,194	+272	+3.4%
ユーザー更新	6,861	7,215	+354	+5.2%
新規顧客	1,061	979	-82	-7.7%
非自動車系	1,592	1,848	+256	+16.1%
ユーザー更新	1,090	1,255	+165	+15.1%
新規顧客	501	593	+92	+18.4%
合計	9,515	10,042	+527	+5.5%
ユーザー更新	7,952	8,470	+518	+6.5%
新規顧客	1,563	1,572	+9	+0.6%
その他	1,473	1,026	-447	-30.3%
システム販売 売上総計	10,988	11,069	+80	+0.7%



# ネットワークサービス分野の主要指標

## POINT

自動車補修部品の電子受発注プラットフォームの業界標準化に向けて拡大中

FY2016  
 期末

FY2017  
 期末

### ■ トランザクション

#### BLパーツオーダーシステム

整備工場接続数	2,041	2,194
部品商参加社数	335	345

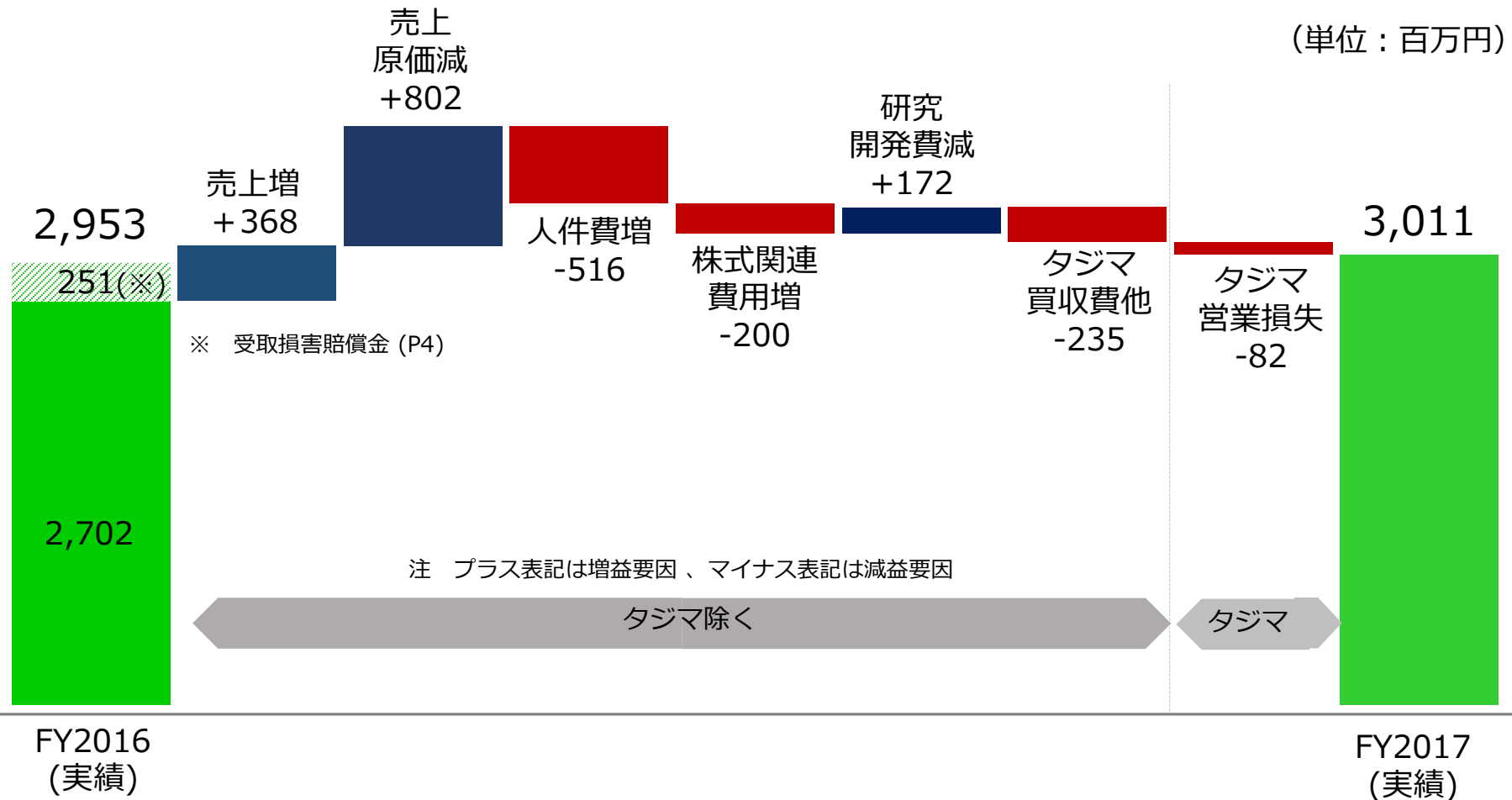
#### CarpodTab

契約システム数	3,054	3,259
---------	-------	-------

# 営業利益の増減内訳 (連結・IFRS)

## POINT

人件費などによる販管費増加を、増収と原価減が上回り営業増益



# BSサマリー (連結・IFRS)

## POINT

タジマ買収により現預金が減少しのれんが増加

(単位：百万円)

	FY2016	FY2017		主な増減要因
	期末	期末	増減額	
流動資産	12,304	11,400	-904	現預金の減少 (-1,768) 営業債権の増加 (+786)
非流動資産	13,018	16,663	+3,645	のれんの増加 (+1,708)
資産合計	25,322	28,063	+2,741	
流動負債	4,980	7,478	+2,497	営業債務の増加 (+2,455)
非流動負債	1,183	848	-335	長期借入金の減少 (-611)
負債合計	6,163	8,326	+2,163	
資本合計	19,159	19,737	+578	当期利益の計上 (+1,932) 自己株式の取得等による減少 (-483) 剰余金の配当による減少 (-1,049)
負債及び資本合計	25,322	28,063	+2,741	

# CFサマリー（連結・IFRS）

## POINT

ソフトウェア開発やタジマ買収などにより、投資が増加したことにより、フリー・キャッシュ・フローは前期比減少

（単位：百万円）

	FY2016	FY2017		主な増減要因
	通期	通期	増減額	
営業活動によるCF	3,142	2,558	-584	法人所得税等の支払額 (-630)
投資活動によるCF	-684	-2,072	-1,388	無形固定資産の取得による支出 (-753) 連結の範囲変更に伴う 子会社株式の取得による支出 (-865)
財務活動によるCF	-3,324	-2,251	+1,073	配当金の支払額 (-329) 自己株式の取得による支出減 (+1,416)
フリーCF	2,458	486	-1,972	
現金及び現金 同等物	7,738	5,970	-1,768	

## Chapter 2

# 2018年12月期 業績予想

---

# 通期業績予想（連結・IFRS）

## POINT

タジマの連結フル寄与もあり大幅増収

（単位：百万円）

	FY2017	FY2018			
	通期	通期予想	増減額	増減率	上期予想
売上収益	18,195	20,400	+2,205	+12.1%	9,400
営業利益	3,011	3,300	+289	+9.6%	950
営業利益率	16.5%	16.2%	-0.3pt	-	10.1%
当期利益	1,932	2,100	+168	+8.7%	600
当期利益率	10.6%	10.3%	-0.3pt	-	6.4%
EPS（※）	21.82円	24.02円	+2.20円	+10.1%	6.85円

※2018年4月1日効力発生（予定）の株式分割1:2を考慮

## 分野別売上収益の予想（連結・IFRS）

### POINT

システム販売売上の回復にくわえ、ストック中心にネットワークサービスも引き続き拡大

（単位：百万円）

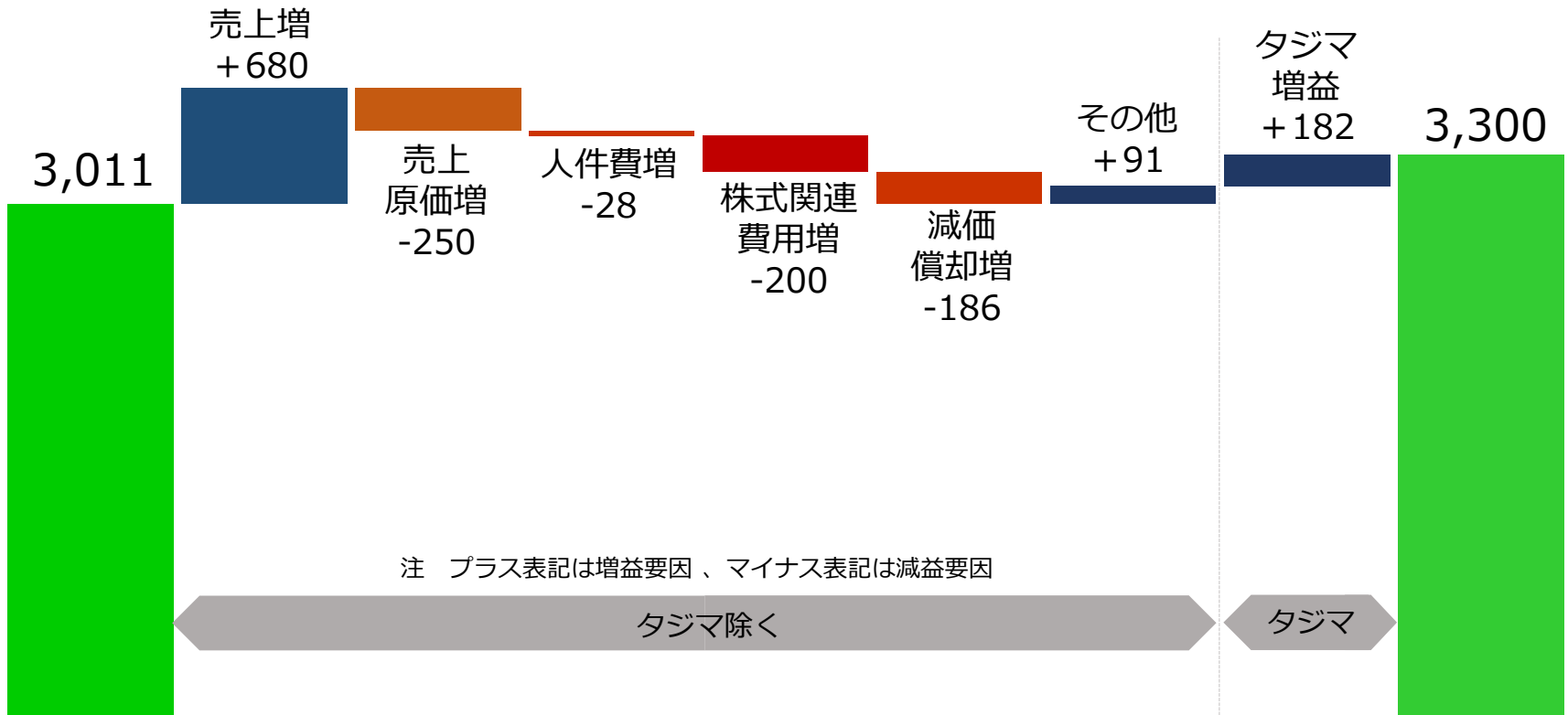
	FY2017	FY2018			
	通期	通期予想	増減額	増減率	上期予想
システム販売	11,737	13,130	+1,393	+11.9%	5,870
システムサポート	1,264	1,340	+76	+6.0%	660
保守	556	580	+24	+4.4%	280
サプライ	708	760	+52	+7.3%	380
ネットワークサービス	5,194	5,930	+736	+14.2%	2,870
ストック	4,177	4,820	+643	+15.4%	2,360
トランザクション	939	1,010	+71	+7.6%	480
PSF	642	680	+38	+5.8%	330
受発注等	296	330	+34	+11.4%	150
その他	78	100	+22	+28.1%	30
売上合計	18,195	20,400	+2,205	+12.1%	9,400

# 営業利益の増減要因（連結・IFRS）

## POINT

ブロードリーフ単独での増収にくわえ、タジマ増益などにより営業増益

（単位：百万円）



注 プラス表記は増益要因、マイナス表記は減益要因

タジマ除く

タジマ

FY2017  
(実績)

FY2018  
(予想)



# タジマとの統合施策

## POINT

2018年度より統合施策を本格化

### 施策とスケジュール

1Q

2Q

3Q

4Q

会計基準の共通化 / データ売上・保守料の月額化

グループ調達による仕入コスト削減

2018年1月～

- ・ グループ理念体系の浸透

2018年3月

- ・ 本社統合
- ・ コールセンター統合

2018年3月～

- ・ 本社業務共通化

2018年7月～

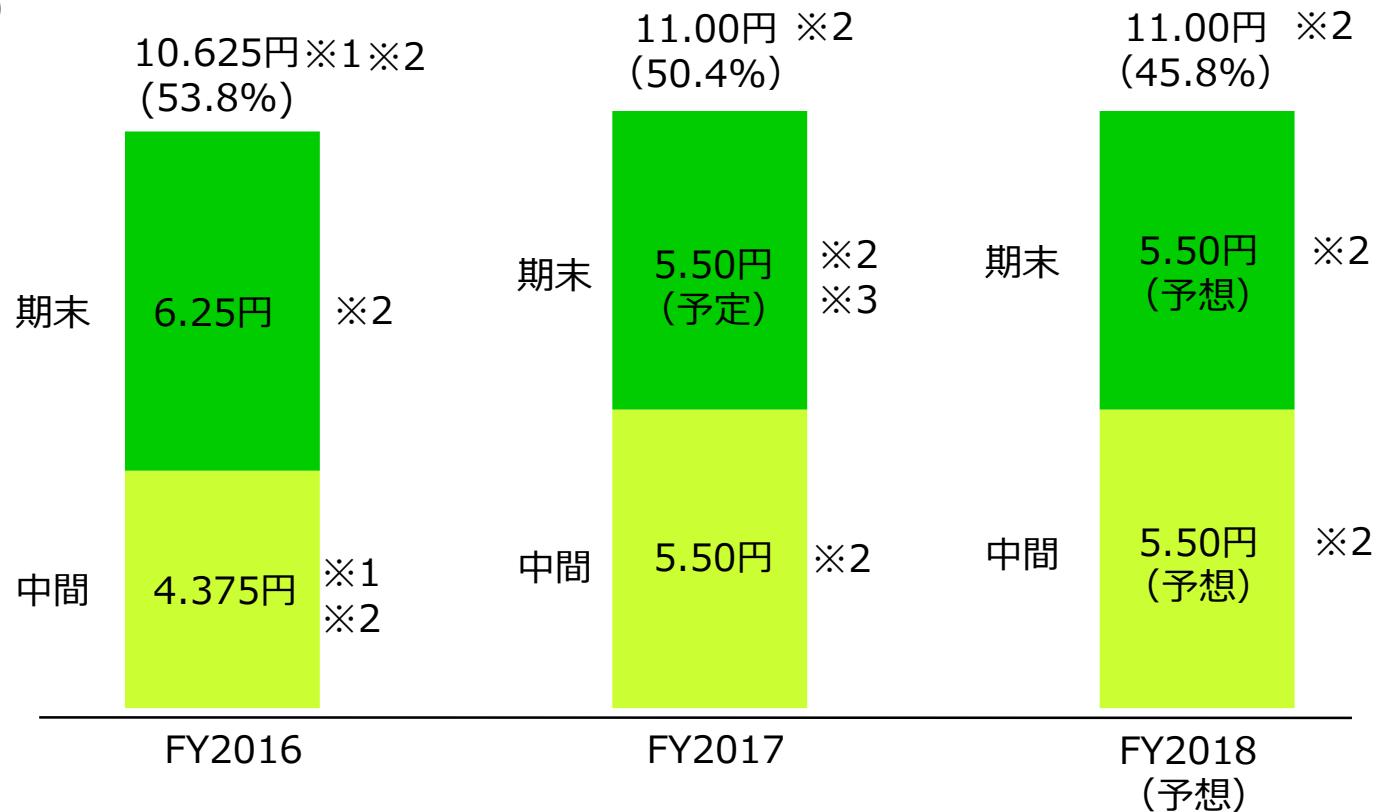
- ・ 営業拠点統合（順次）

# 配当予想

## POINT

年間配当予想11円、配当性向（連結）は45.8%

年間配当  
(配当性向)



※1 2016年12月17日効力発生日の株式分割（1:2）調整後金額

※2 2018年4月1日効力発生日（予定）の株式分割（1:2）調整後金額

※3 FY2017期末配当は、2018年3月開催予定の第9期定時株主総会で決議予定

## Chapter 3

# 経営計画

---

# 現在～これから

## POINT

### ビジネスプラットフォームベンダーへの転換

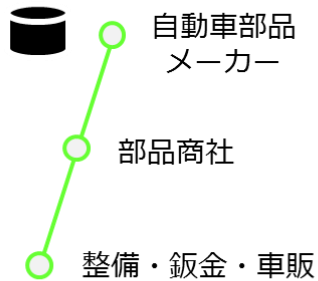
現在

これから

#### 当社の強み

- 顧客をネットワーク化
- 圧倒的なデータベース

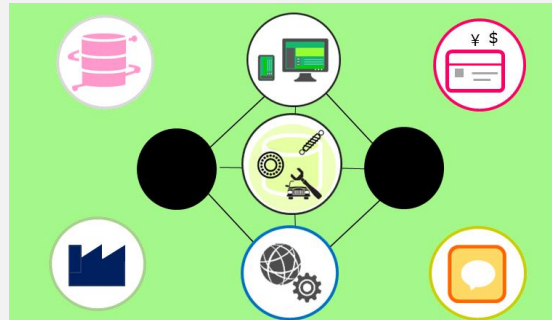
#### 自動車アフターマーケット サプライチェーン



#### その他

携帯、旅行、バス、製造（工場）

#### データを基点としたビジネス展開



#### デジタルトランスフォーメーション を活用した変革

社会・産業のデジタル化

顧客との関係のデジタル化

APIエコノミー/  
ビッグデータ活用

クラウド上で管理された  
次世代業務システム群



#### IT基盤のクラウド化（従来のIT基盤の置き換え）

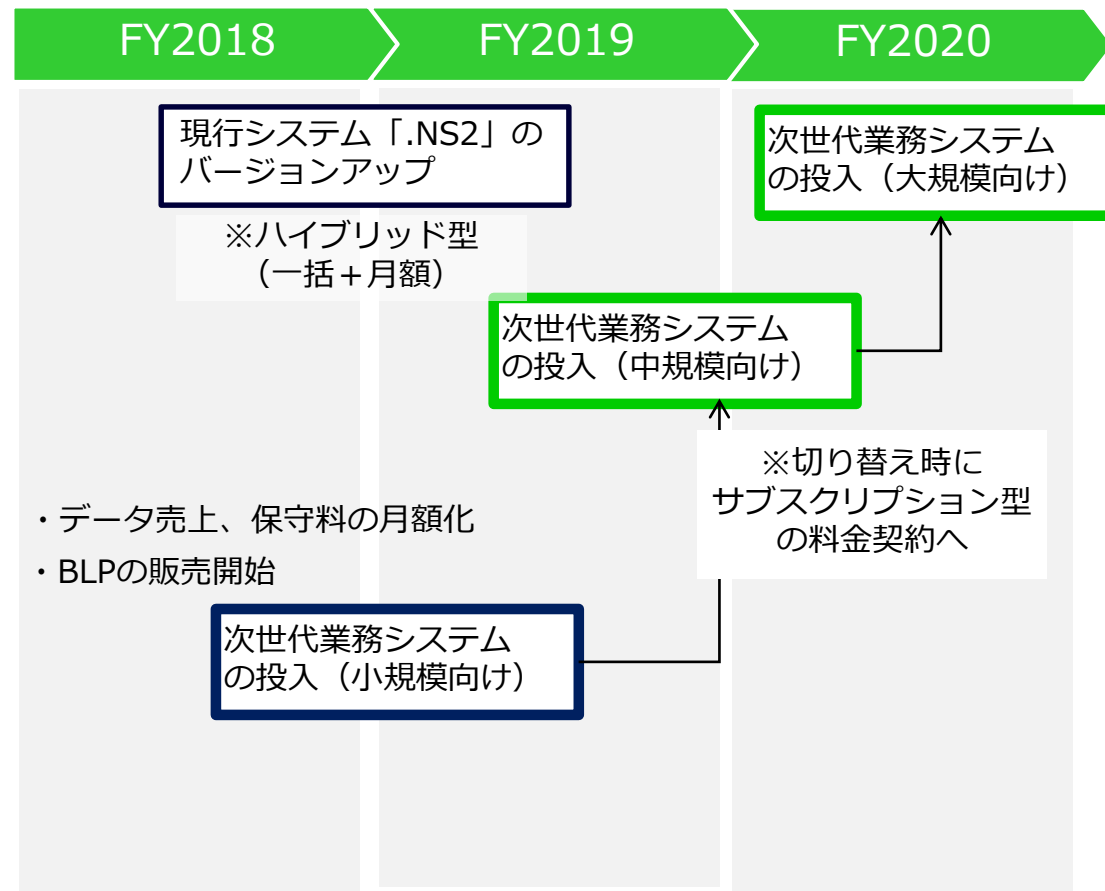
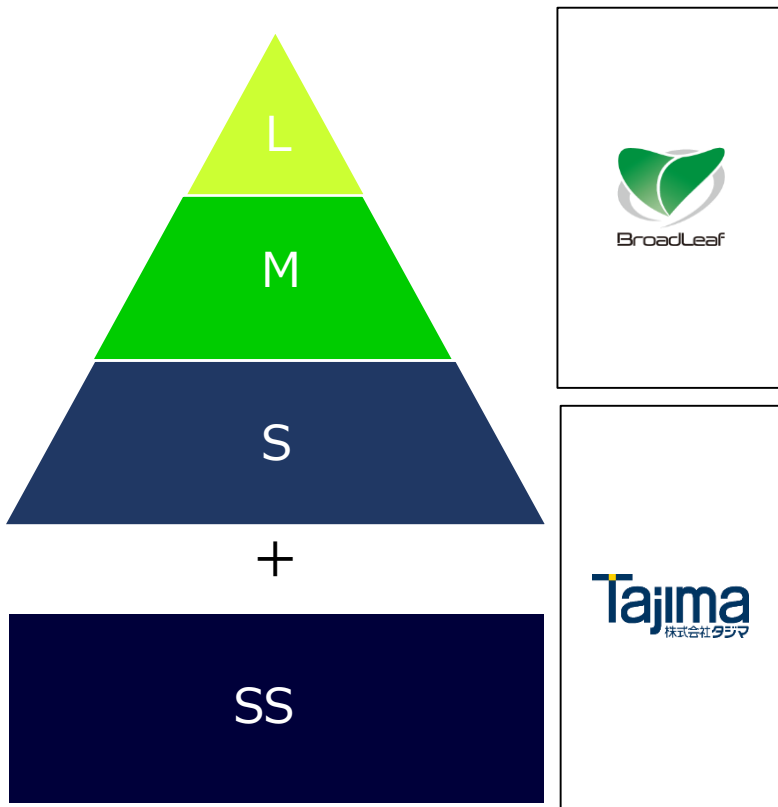
- 経営環境の変化や各種イノベーションに対して、ITの基盤が足かせにならないよう、既存のIT基盤をクラウド化し、インフラ、アプリケーション、ビッグデータ基盤をプラットフォーム化しておく

# 開発スケジュール

## POINT

- 「Broadleaf × Tajima」によるグループ営業の強化
- 次世代業務システム（クラウド版）は段階投入

【顧客マーケット】



# 基本方針

## POINT

中長期的なターゲットはROE12%

### 基本方針 (FY2018-FY2019)

#### 既存領域

グループ・システムユーザ数の拡大

サブスクリプション型料金モデルへの転換

- ・ 現行業務システム.NSシリーズの進化
- ・ 次世代業務システムの戦略的市場投入
- ・ タジマ収益の強化

#### 新規領域

新サービス/  
新事業の創出

- ・ テクノロジーの活用 (AI、VR/AR)
- ・ データ利活用
- ・ M&A推進

海外への  
本格展開

- ・ アジア商圏の拡大
- ・ 自動車部品流通の展開

#### プラットフォームサービスの提供

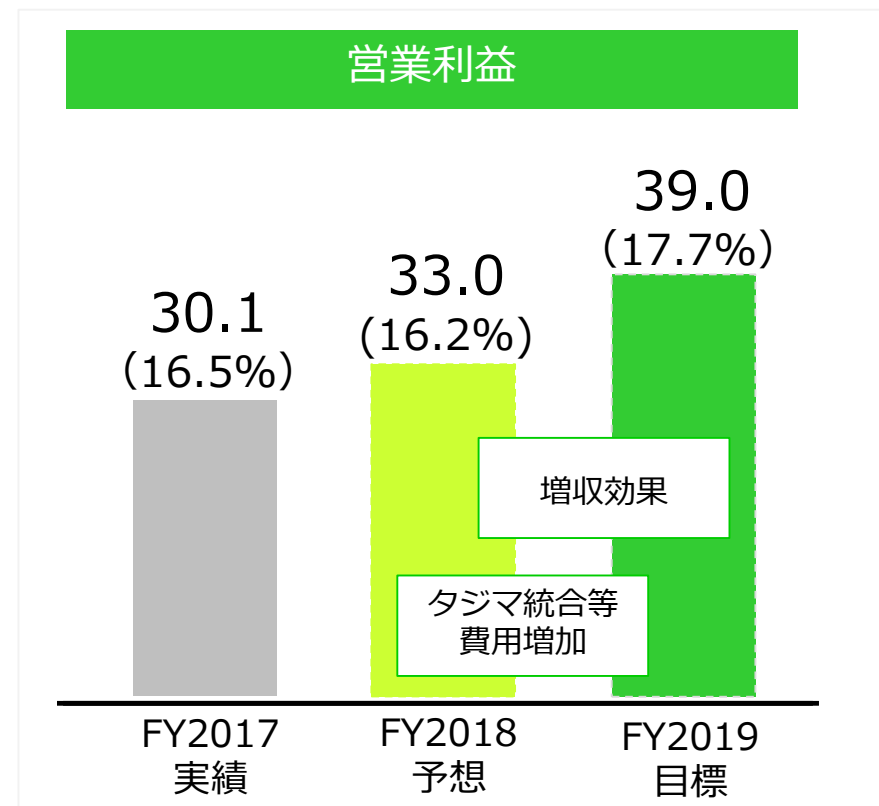
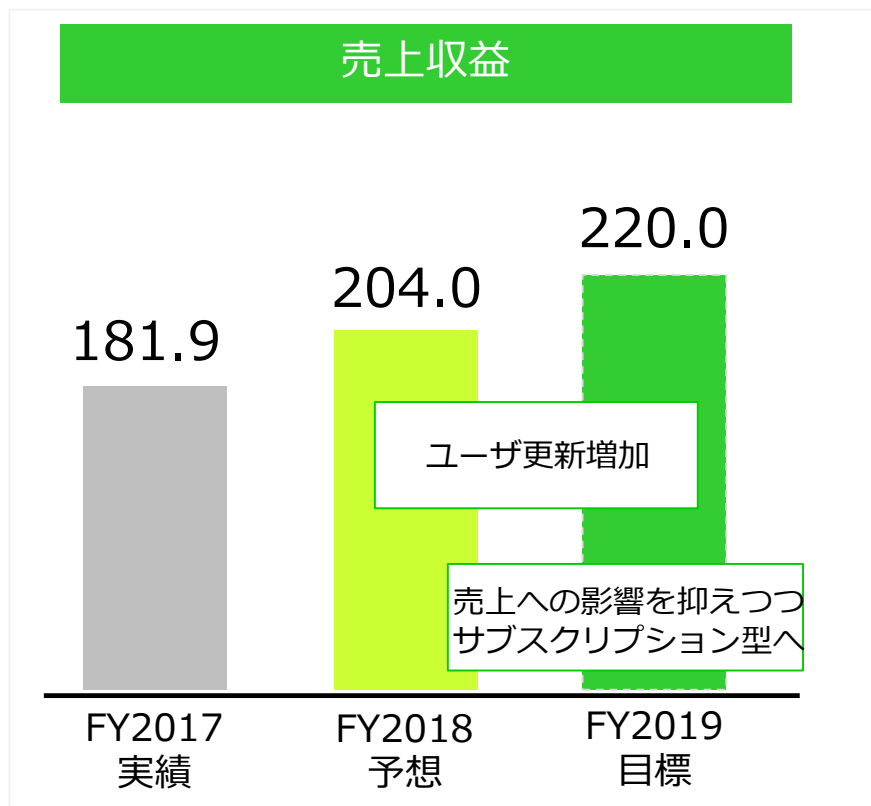
- ・ クラウド基盤（プラットフォーム）をベースにしたサービス開発（既存 & 新規共通）
- ・ データ拡充による更なる差別化

# 業績目標

## POINT

- FY2017-2019の売上収益は、年平均成長率は10.3%
- 営業利益率は、開発や統合費用増加を増収効果でカバーし1.2pt上昇

(単位：億円)  
( )内は営業利益率



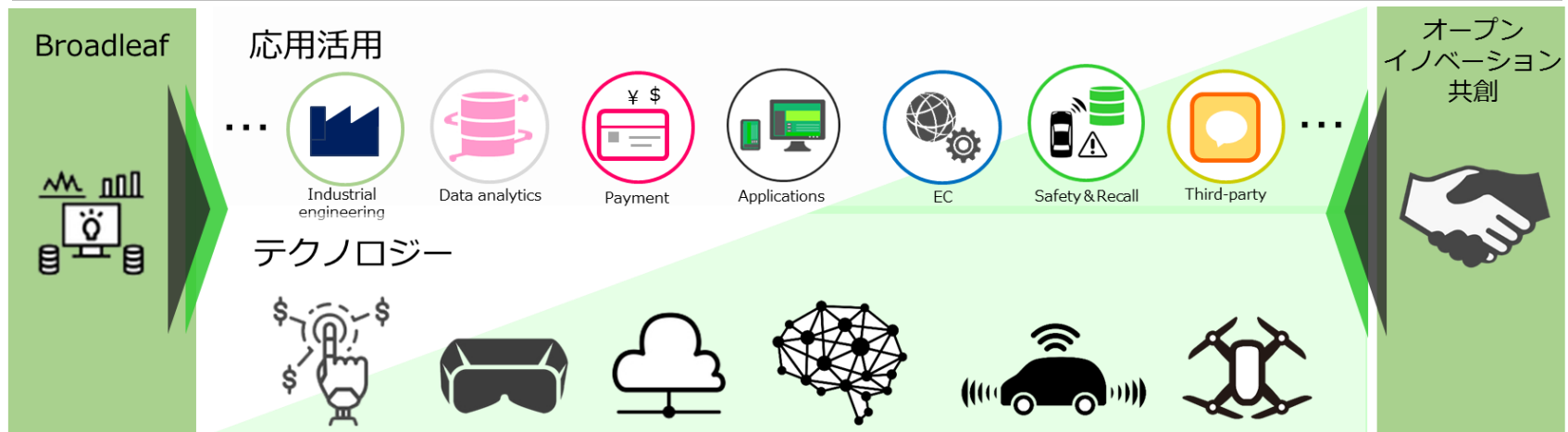
# 目指す姿

## POINT


### データ&テクノロジーで社会に価値を提供

#### Broadleaf 10年ビジョン 考える、つながる、広がる

～ 豊かな社会・ライフスタイルをつくる総合プランナーへ ～



#### 現実社会

  
サステナブルな社会の実現

  
環境変化・産業活動

金融・サービス・旅行・製造業

自動車アフターマーケット



## Appendix 【参考資料】



## 感謝と喜び

ブロードリーフグループは、「感謝と喜び」という人や企業が深く結びつくために欠かせない“心”を大切に、お客様とともに繁栄するビジネスを進めています。私たちの商品やサービスがお客様の事業に貢献する時、お客様に「ブロードリーフグループとつきあって、よかった」と感じていただけるでしょう。

そして事業が日々成長する実感に、喜びが生まれることでしょう。そんなお客様の心を受けて、私たちにも「感謝と喜び」が生まれ、よりよい商品やサービスにつながっていきます。

会社名	株式会社ブロードリーフ
代表者	大山 堅司
上場市場	東京証券取引所市場第一部（3673） 2013年3月22日上場
創業/設立	2005年12月/2009年9月
資本金	7,147百万円
事業内容	自動車アフターマーケット事業者の業務を支えるITネットワークシステム および同プラットフォーム上でのサービス提供  (業務アプリケーション、異業種間連携プラットフォーム、 リサイクル部品マーケットプレイス、自動車関連コンテンツの開発等)
本社所在地	東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F
営業拠点	全国 33拠点
開発拠点	全国 3拠点（札幌・東京・福岡）

## グループ体制

## 国内



株式会社ブロードリーフ

Tajima

◎ 株式会社タジマ

100%



◎ 株式会社SpiralMind

100%

## 海外

(フィリピン)

◎ Broadleaf I.T.Solutions Inc.

100%

○ BLISAM TRADING CORP

50%

(中国)

◎ 博楽得信息科技有限公司（合肥）有限

100%

◎ 北京盛源博乐信息科技有限公司

100%

◎は連結子会社、○は持分法適用関連会社

%は議決権の所有割合

当社グループはITサービス事業の単一セグメントですが、下記分野別での区分を行っています。

区分			事業内容
大分類	中分類	小分類	
システム販売			<ul style="list-style-type: none"> <li>業種特化型業務アプリケーションの開発・販売</li> <li>作業分析・最適化ソフトウェアの開発・販売</li> <li>PC本体やプリンタ等の仕入・販売 他</li> </ul>
システムサポート	保守		<ul style="list-style-type: none"> <li>当社システム販売顧客への業務アプリケーション保守サービス、ハードウェア保守サービスの提供</li> </ul>
	サプライ		<ul style="list-style-type: none"> <li>業務アプリケーションで利用する専用帳票類やOAサプライ品の仕入・販売</li> </ul>
ネットワークサービス	ストック		<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車関連の車両情報や、日々更新される部品関連情報のデータベースを提供</li> <li>ネットワーク型システムの利用に必要なサーバー維持の対価</li> </ul>
	トランザクション	PSF	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル部品の在庫情報を共有するリサイクル部品流通ネットワーク「パーツステーションNET」を運営</li> <li>部品売買の際に取引額の決済を代行し手数料を徴収</li> </ul>
		受発注	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車部品の電子受発注システム「BLパーツオーダーシステム」を提供</li> <li>整備事業者等にタブレット型業務端末「CarpodTab」を提供 他</li> </ul>
	その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外の商品、サービス</li> </ul>

## 免責事項

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

【お問い合わせ先】  
株式会社ブロードリーフ  
IR・広報室  
E-Mail : [broadleaf-ir@broadleaf.co.jp](mailto:broadleaf-ir@broadleaf.co.jp)